

アルプラクラス 全開口サッシ

半外納まり 取り付け説明書

このたびは、“アルプラクラス 全開口サッシ”をご利用いただきましてありがとうございます。本商品をただしく取り付けさせていただくため、この説明書をよくお読みください。

■ 工事店様へのお願い ……

障子梱包に同梱されている取り扱い説明書は、必ず施主様にお渡しください。

注 意

この商品は、躯体の上部に全荷重がかかります。上部の梁の強度を確認してください。

また施工の際は、上枠が垂れ下がらないように中央付近の開口高さを両端に対し ± 4 mm以内となるように必ずチェックしてください。（本体障子が入らなくなるおそれがあります。）

目 次

注意していただくこと	・・・ P 2 ~ 3
1. 施工前の現場チェック	・・・ P 4
2. 梱包内容	・・・ P 5 ~ 6
3. 枠の組み立て	・・・ P 7
4. 躯体の補強	・・・ P 8
5. 枠の取り付け	・・・ P 8 ~ 9
6. 障子の吊り込み	・・・ P 10 ~ 13
7. 障子の連結について	・・・ P 14
8. ラッチの調整	・・・ P 15 ~ 16
9. ガラスはめ込み前の確認	・・・ P 17
10. ガラスはめ込み	・・・ P 18 ~ 19

アコーディオン網戸用取り付け説明書は、アコーディオン網戸に同梱されています。

注意していただくこと

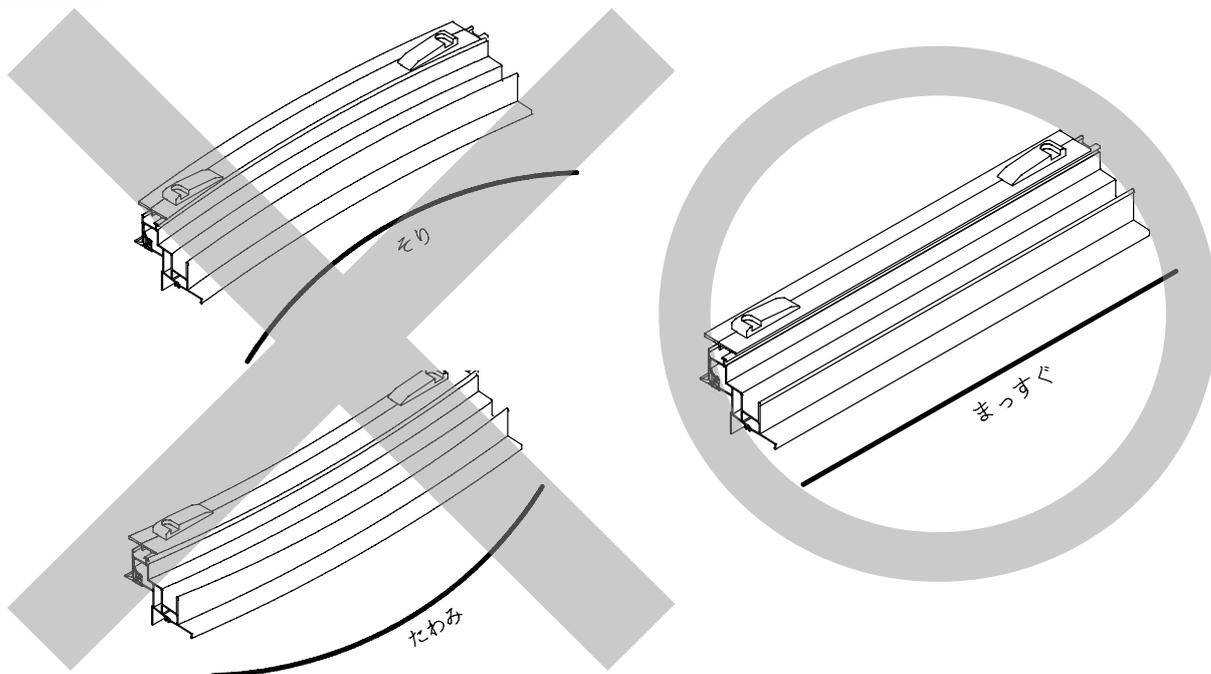
必ずお読みください

■ 枠取り付けについて

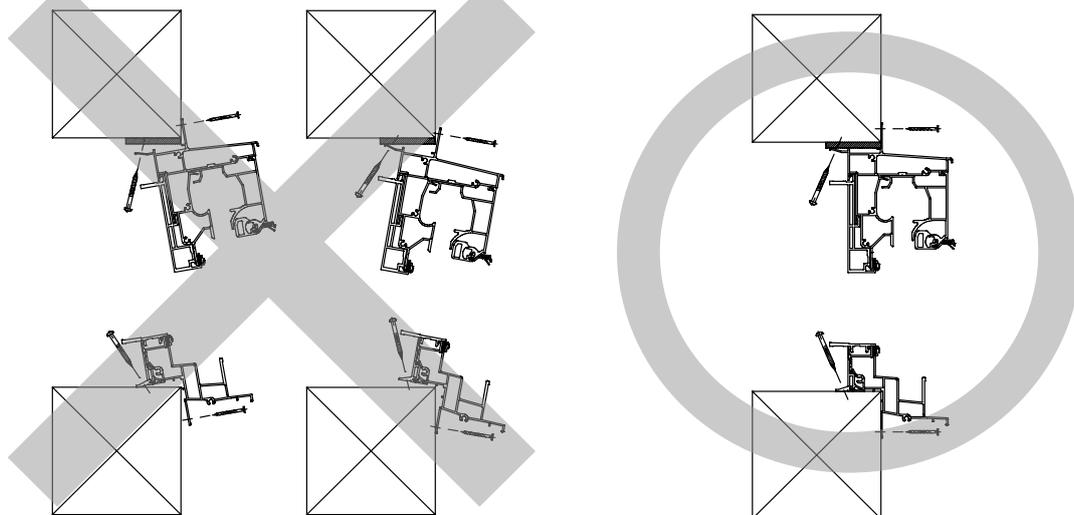
本商品は上吊方式のため、ねじれ・たわみ・そり・倒れなどがある場合、障子の開閉や性能に悪影響をおよぼします

枠の取り付けの際に下記のことにご注意し、取り付けてください。

注意 枠の、たわみ・そりに注意して取り付けてください。



注意 枠の、倒れに注意して取り付けてください。



■ 床仕上げについて

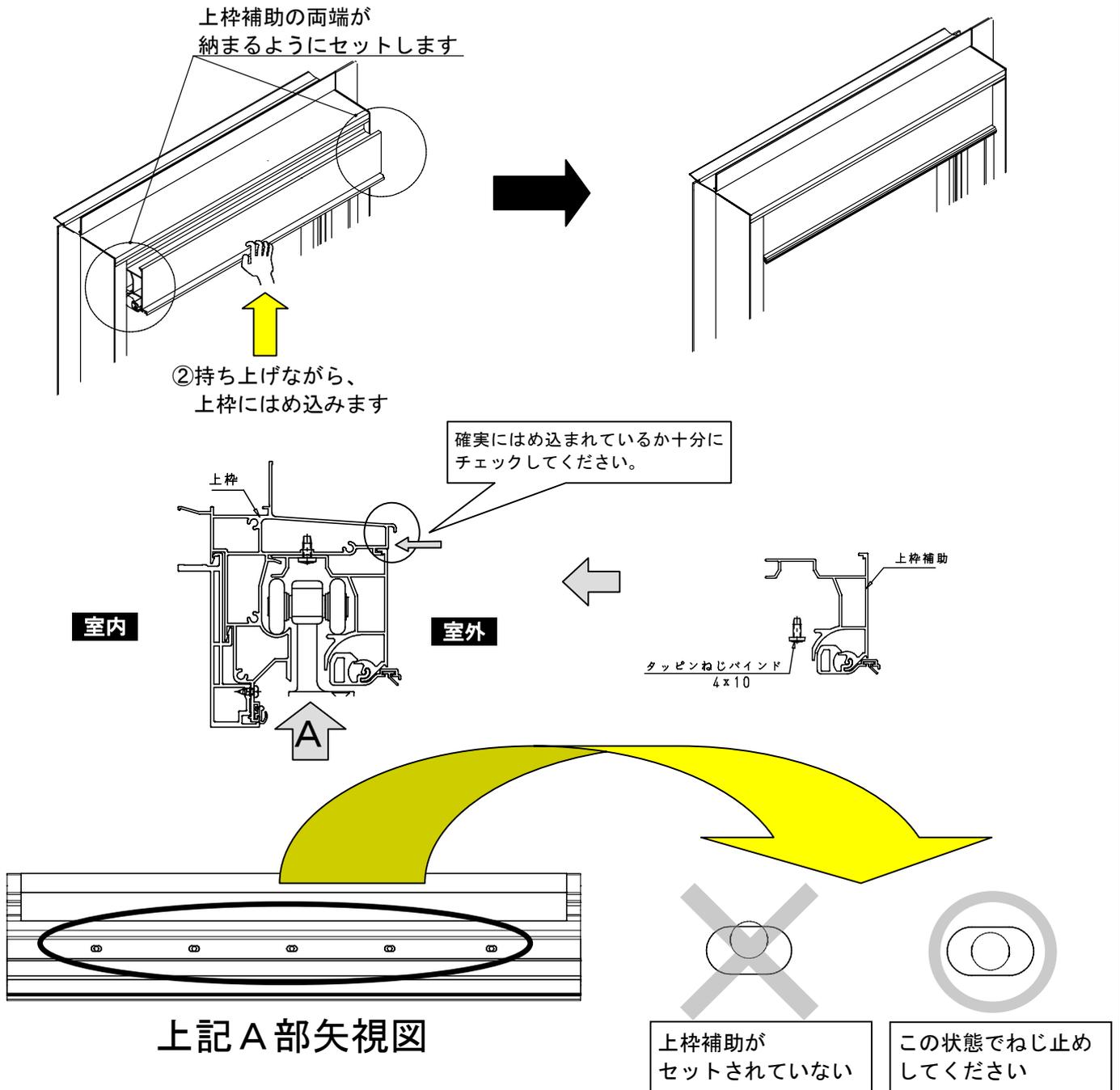
注意 床を仕上げる際は、下枠を室外側に押しすぎないように注意してください。

注意していただくこと

■ 上枠補助の取り付けについて

- ①上枠補助の両端が下図のように納まるようセットしてください。
- ②上枠補助を下図のように持ち上げながら上枠にはめ込んでください。
- ③上枠補助 および、上枠にはねじ止め用穴が複数箇所あいていますので全箇所、ねじ止めしてください。

※ねじ止めをするときは、最初に中央部を止め、次に端から順に止めていくと、確実に固定することができます。



⚠ 注意

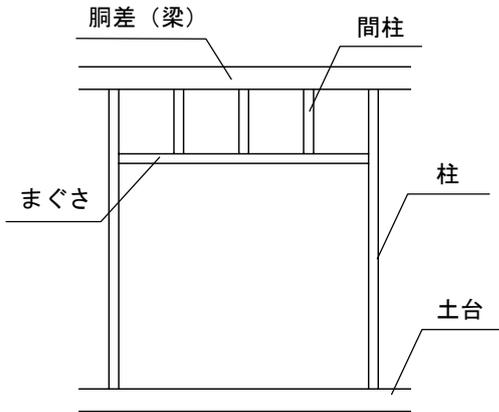
上枠補助が上枠に上図のようにはめ込まれていなかったり、同梱されていた（指定された）ねじ以外を使用した場合、室内への水漏れなどの原因となります。

1 施工前の現場チェック

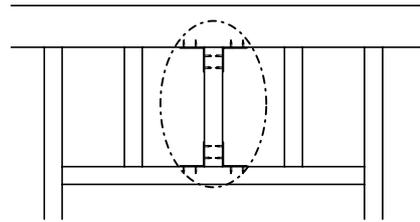
必ずお読みください

■ サッシ枠の取り付け前に躯体の強度確認と、補強金物による補強を行なってください。

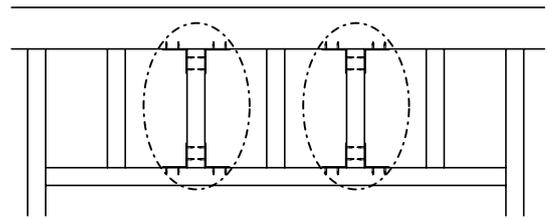
この商品は上枠に約150kgの重量がかかります。上部のまぐさおよび梁に十分な強度を持たせるために、枠梱包に同梱されている補強金物にて、間柱と梁・まぐさの接合部を補強してください。補強金物は、柱一補強部一柱間が等間隔になる位置に取り付けてください。



例1) 6尺間 ($1214 \leq \text{サッシ}W \leq 2000$) の場合
中央部の間柱を補強します。

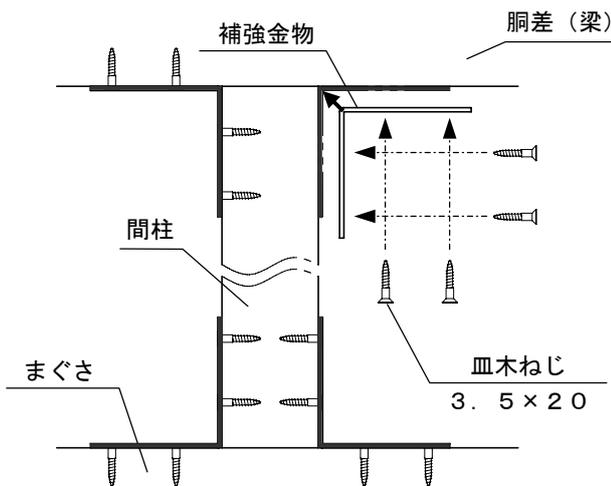


例2) 9尺間 ($2000 < \text{サッシ}W \leq 3000$) の場合
等分割となる間柱を補強します。



補強金物取り付け部 詳細

補強する間柱1本当り、補強金物4個にて補強します。

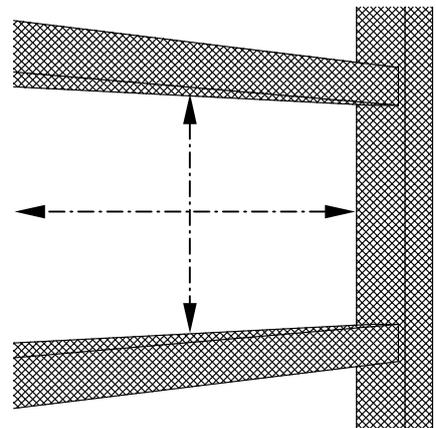


▲ 注意

補強を行わずにサッシを取り付けると、上枠が垂れ下がり、商品の開閉ができなくなるおそれがあります。

■ 躯体の寸法確認

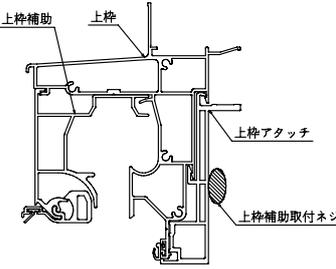
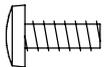
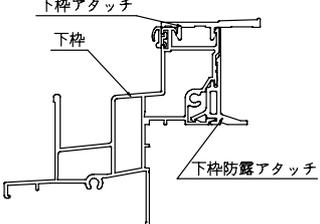
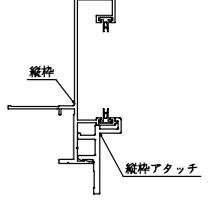
- ・躯体の開口幅、開口高寸法と柱および壁の垂直を実測し、枠が躯体開口に納まるか確認してください。



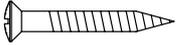
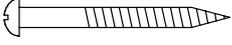
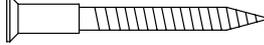
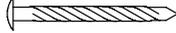
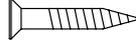
2 梱包内容

- 枠梱包内容は次のようになっております。
- 下記の部品・部材は **3** 枠の組み立て（P7）にて使用します。

枠梱包内容

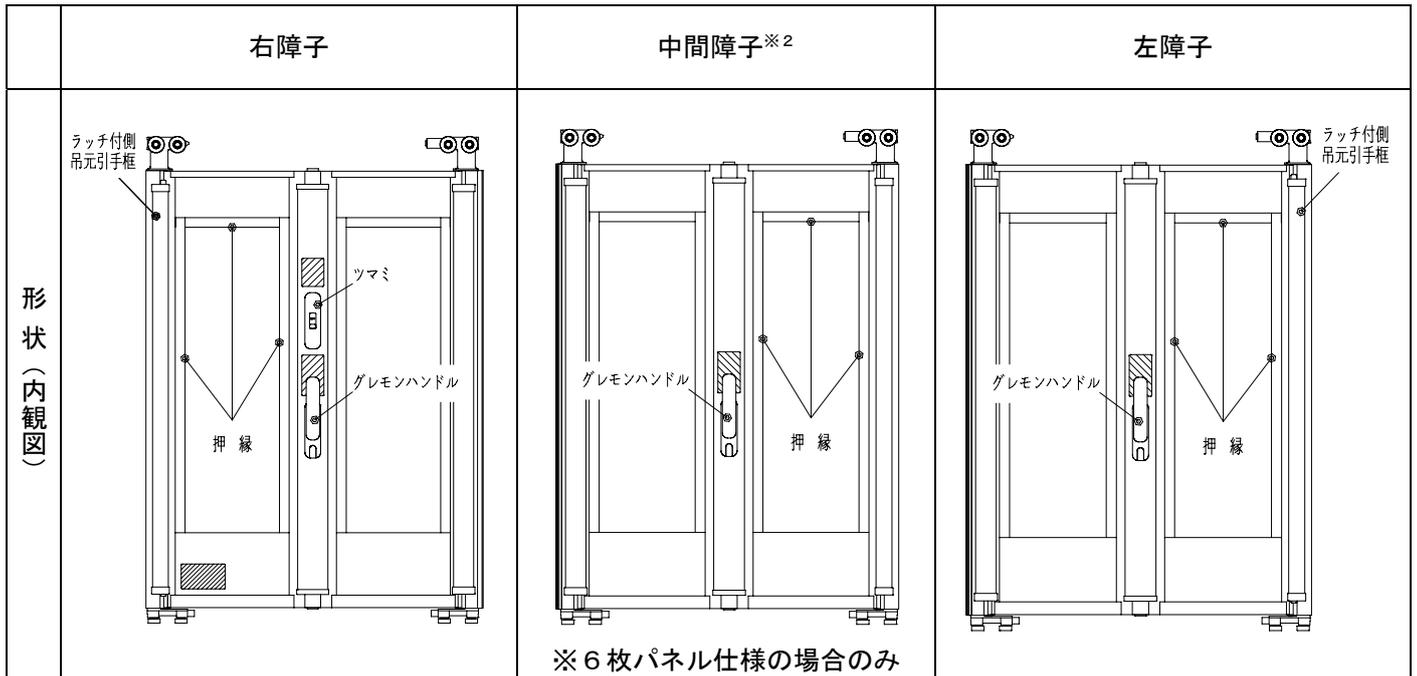
品名	形状	個数	備考
上枠セット品		各 1	上枠＋上枠補助セット品 ※上枠補助はネジで仮止めしてあります
タッピンねじバインド 4×10		必要数入っています	上枠補助取付ねじ ※小袋入り:上枠に貼り付けてあります
下枠		1	
縦枠		2	L・R 各 1 本入っています。

同梱部品（部品箱入り）

丸皿木ねじ 3.1×20		必要数入っています	額縁止めねじ
タッピンねじバインド 4×40		12	枠組用ねじ
丸木ねじ 3.1×32		必要数入っています	上下枠用木枠取付ねじ
段付皿木ねじ 3.5×40		必要数入っています	縦枠用木枠取付ねじ
釘 2.1×32		必要数入っています	四方枠用取付釘
補強金物		必要数入っています	
皿木ねじ 3.5×20		必要数入っています	補強金物取り付けねじ
取り付け説明書		1	

障子1セット梱包内容

障子形状は、製品仕様によって、右障子・中間・左障子の3種類あります。



同梱部品

		押縁※1	連結金具セット※3	取り扱い説明書
形状				
右障子	上框用	2	-	1
	縦框用	4		
※2 中間障子	上框用	2	1	-
	縦框用	4		
左障子	上框用	2	-	-
	縦框用	4		

※1. 押縁は、上框・縦框にセットされています。(3方押縁)

※2. 中間障子は、6枚パネル仕様の場合のみ

※3. 連結金具セットは2種類のうちのどちらかが同梱されています。

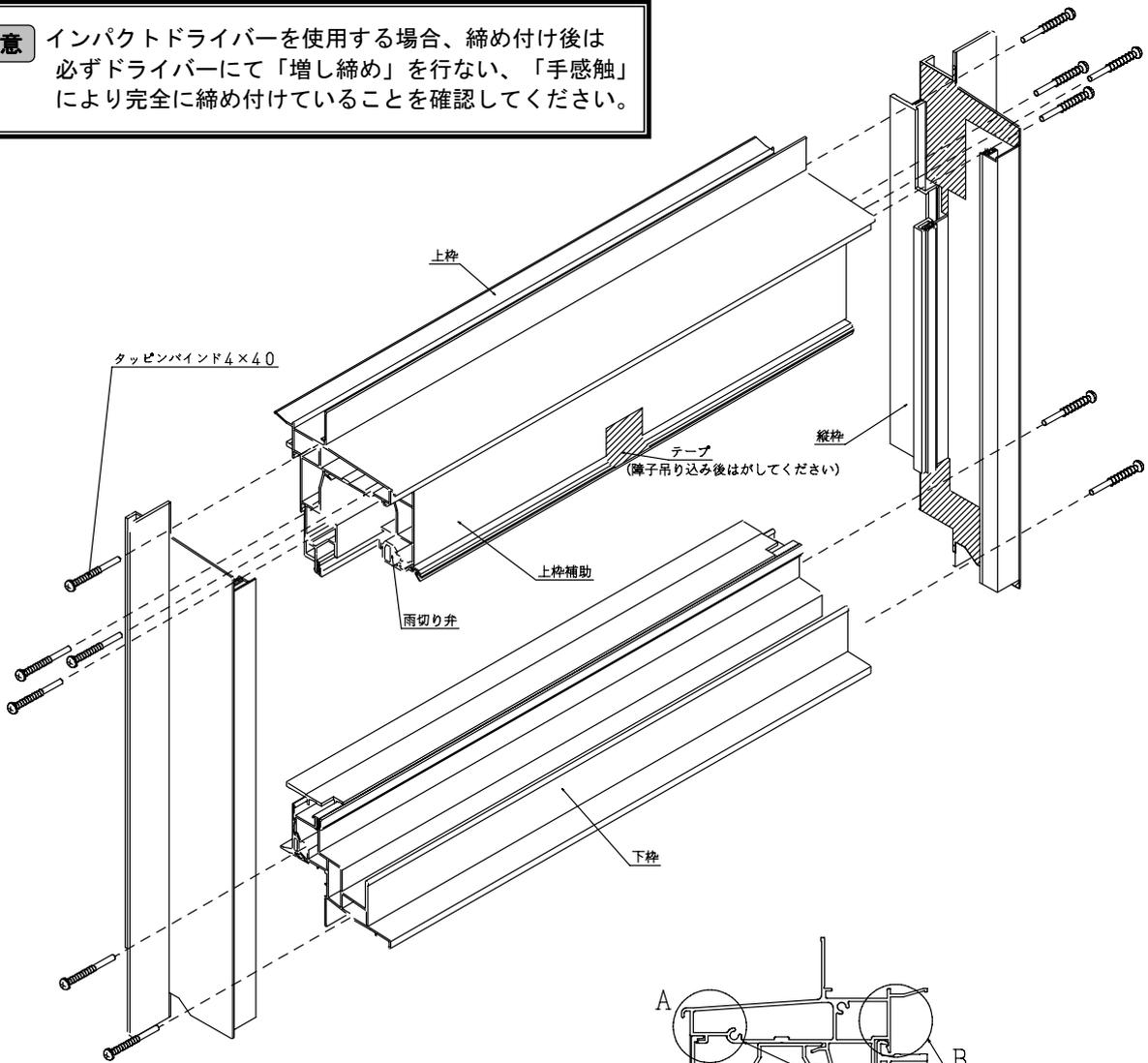
3 枠の組み立て

■ 枠を組み立てる際には、枠のねじれ・たわみ・傾がりがないことを確認し、タッピンねじバインド4×40で枠をしっかり組み立ててください。



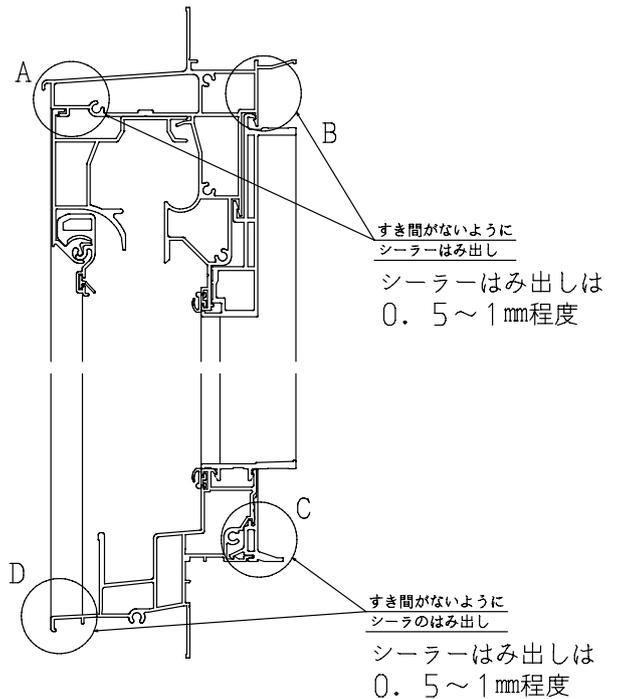
注意

インパクトドライバーを使用する場合、締め付け後は必ずドライバーにて「増し締め」を行ない、「手感触」により完全に締め付けていることを確認してください。



注意

枠を組み立てる際は、
 ・上枠と縦枠の合わせ部 (A・B部)
 ・下枠と縦枠の合わせ部 (C・D部)
 にすき間がないよう、また、シーラーの室外側部が、縦枠よりはみ出すように四方枠を組み立ててください。はみ出しがないと水漏れが生じる原因になります。



4 躯体の補強

この商品は、躯体の上部に重量がかかります。強度が弱いと躯体が垂れ下り、商品の開閉ができなくなるおそれがあります。

枠の取り付け前にP4の「**1** 施工前の現場チェック」を参照し、補強金物にて躯体の補強を行なってください。

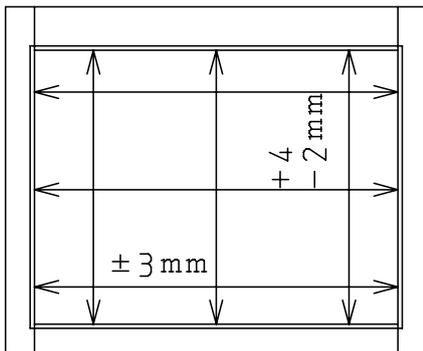
5 枠の取り付け

■ 枠の取り付け精度

- ・下図に示す、商品の各部寸法を確認してください。
本商品は上吊り方式のため、枠のねじれ・たわみ・傾がり・倒れなどがあると、障子の開閉や性能に悪影響をおよぼします。

特に、中央付近のH寸法には十分注意してください。

内法寸法

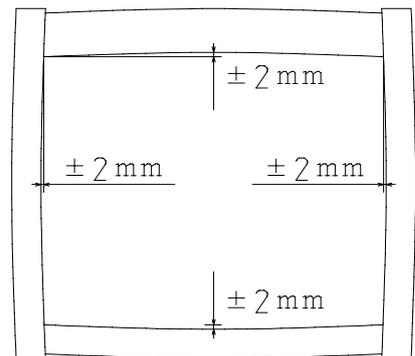


特に注意してください。

内法高さ ± 4 mm
(左右中3ヶ所)

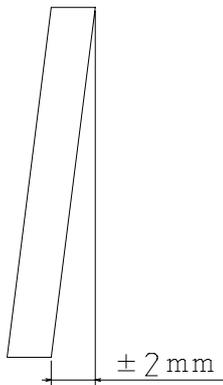
内法巾 ± 3 mm
(上中下3ヶ所)

たわみ・そり



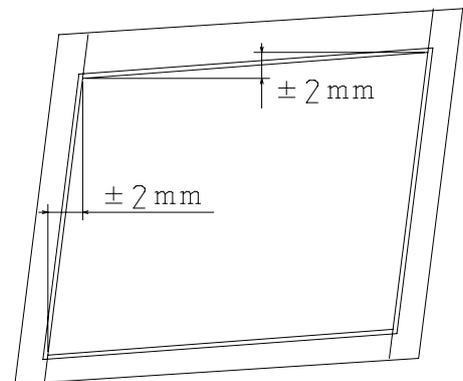
倒れ

上下間 ± 2 mm



傾がり・水平度

部材両端間 ± 2 mm



■ 枠の取り付け

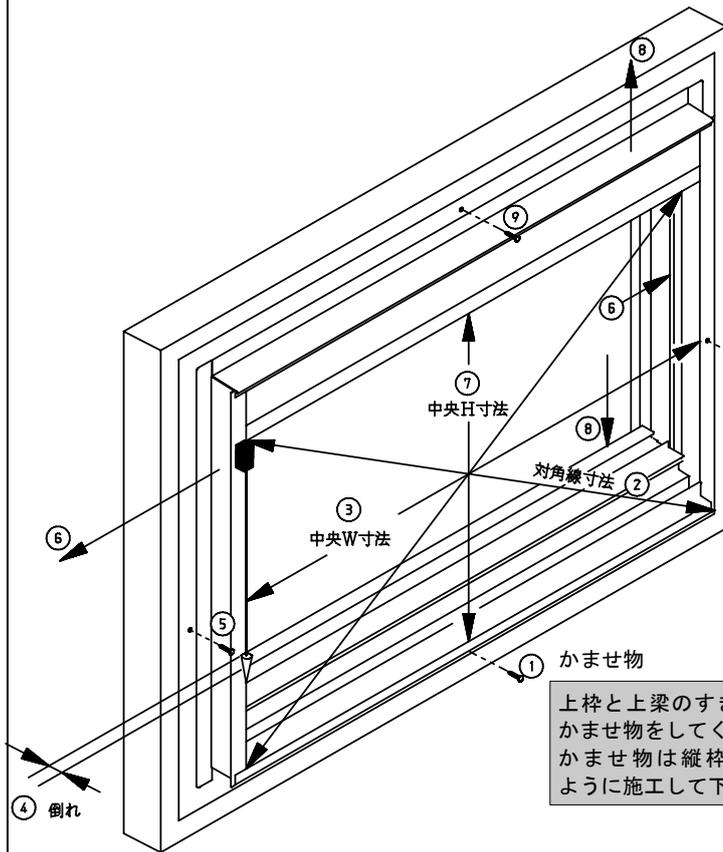
・組み立てた枠を下図のように躯体に建て込み、各部の寸法を測定・調整しながら下図の順番通りに、木ねじ・釘でサッシ枠を固定してください。

P 2 “枠の取り付けについて” 参照



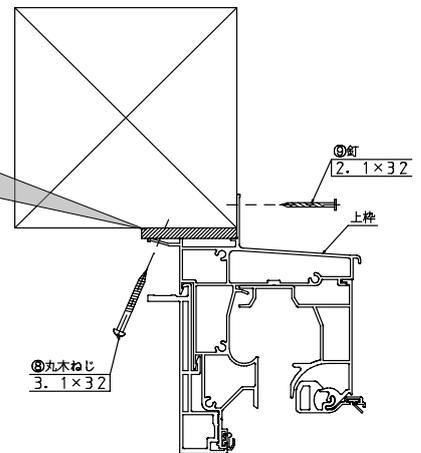
注意

この商品は上吊りのために、上枠に重量がかかります。上枠を止めるときは、上枠に加工されている穴すべてに、木ねじ・釘を使用して、確実に固定してください。

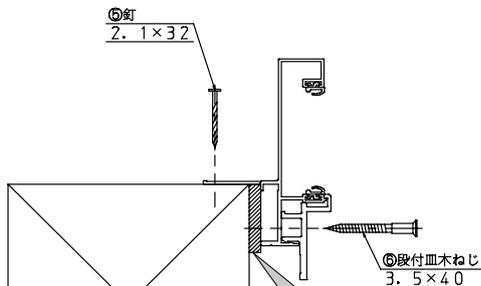


- ①…下枠を躯体に固定してください。
(釘打ち：釘 2.1×32)
- ②…対角寸法を確認してください。
- ③…中央部W寸法を確認してください。
- ④…枠の倒れを確認してください。
- ⑤…縦枠を躯体に固定してください。
(釘打ち：釘 2.1×32)
- ⑥…縦枠を躯体に固定してください。
(ねじ止め：段付皿木ねじ 3.5×40)
- ⑦…中央部H寸法を確認してください。
- ⑧…上下枠を躯体に固定してください。
(ねじ止め：丸木ねじ 3.1×32)
- ⑨…上枠を躯体に固定してください。
(釘打ち：釘 2.1×32)

① かませ物
上枠と上梁のすき間がある場合
かませ物をしてください。
かませ物は縦枠にかからない
ように施工して下さい。



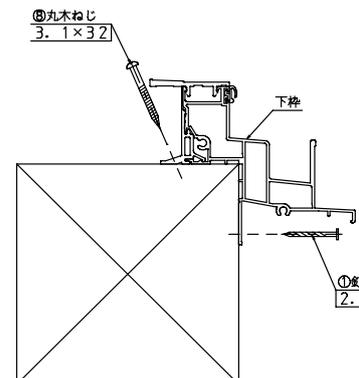
室外



室内

かませ物
縦枠のすき間がある場合は、
かませ物をしてください。

室内



室外

6 障子吊り込み



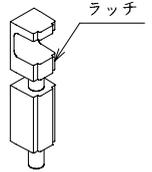
障子にガラスがはめ込まれている場合は、障子の重量がかなり重くなります。
障子を吊り込む際は2人もしくは3人で吊り込みを行なってください。

■ 障子の構成

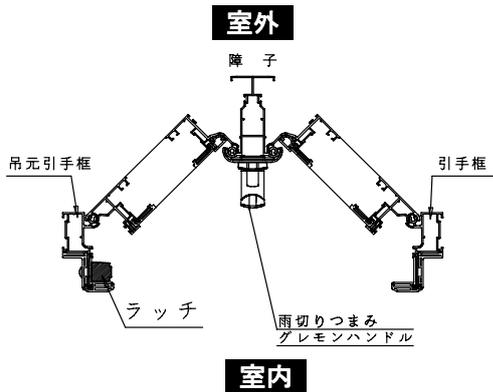
障子は、仕様により種類が異なります。

・下図を参照し、各障子の配置を確認してから吊り込んでください。

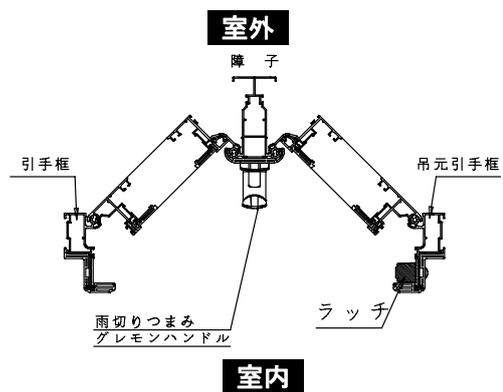
※ラッチは、吊元引手框の上下に取っ付けています
※外観右側の障子（右障子）のグレモンハンドル
上部には、ツマミが取り付けられています



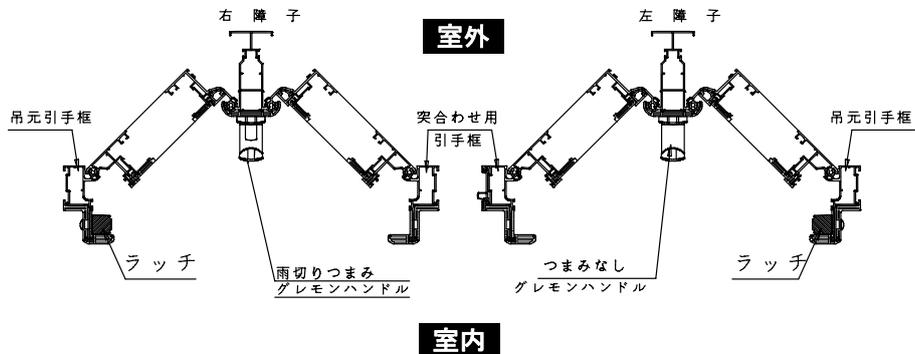
2枚パネル右勝手仕様



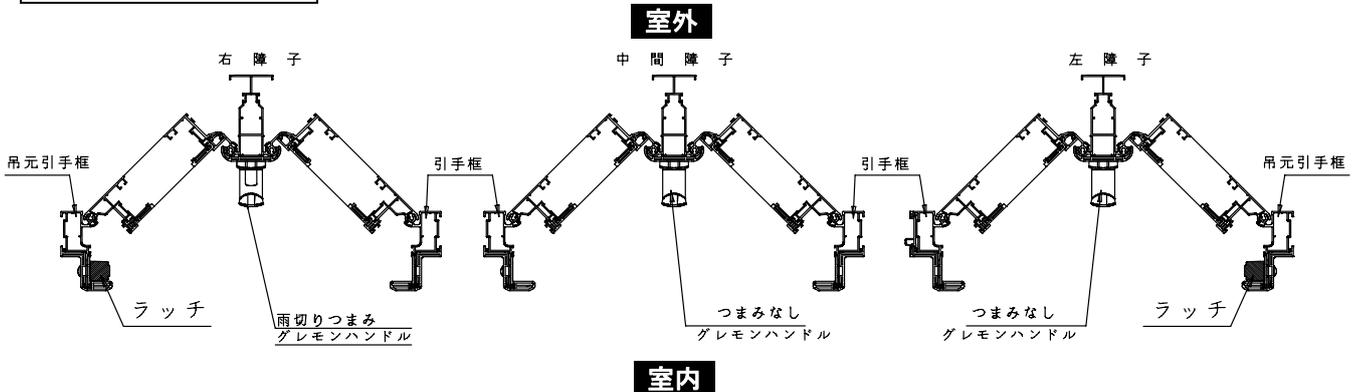
2枚パネル左勝手仕様



4枚パネル引き分け仕様



6枚パネル引き分け仕様

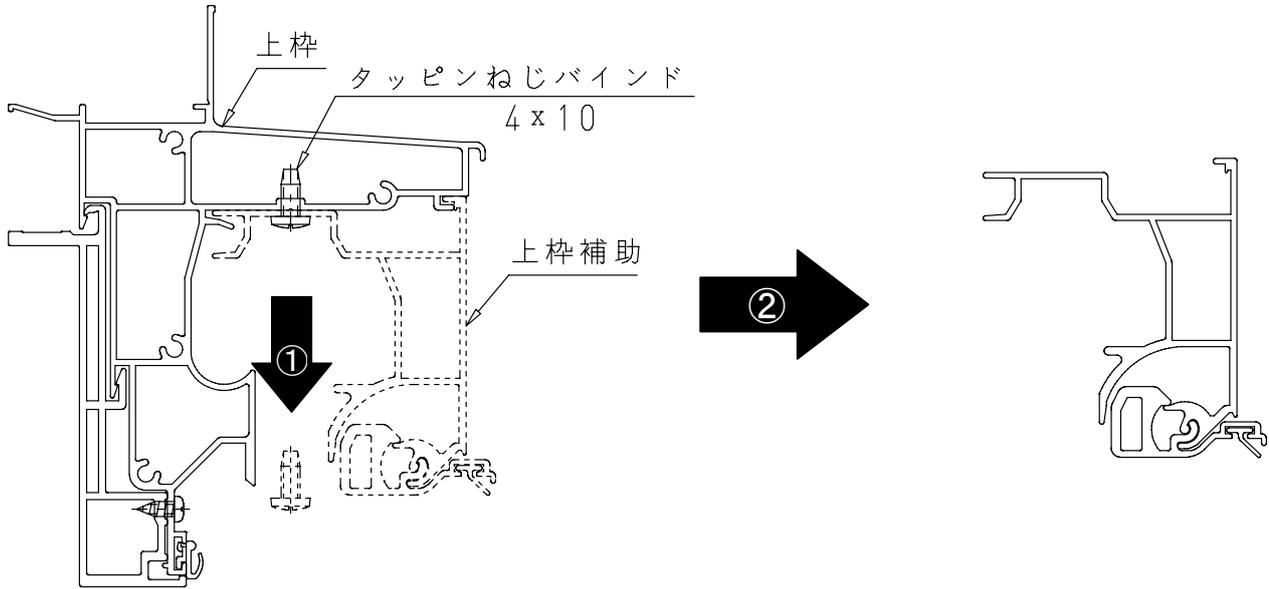


※6枚パネルについては必ずどちらかの引手框が連結されています

1. 上枠補助を外す

上枠の中央付近にねじ1個にて、上枠補助を固定しています。

- ① このねじを取り外します。
- ② 上枠補助を上枠から外してください。



2. 障子の吊り込み

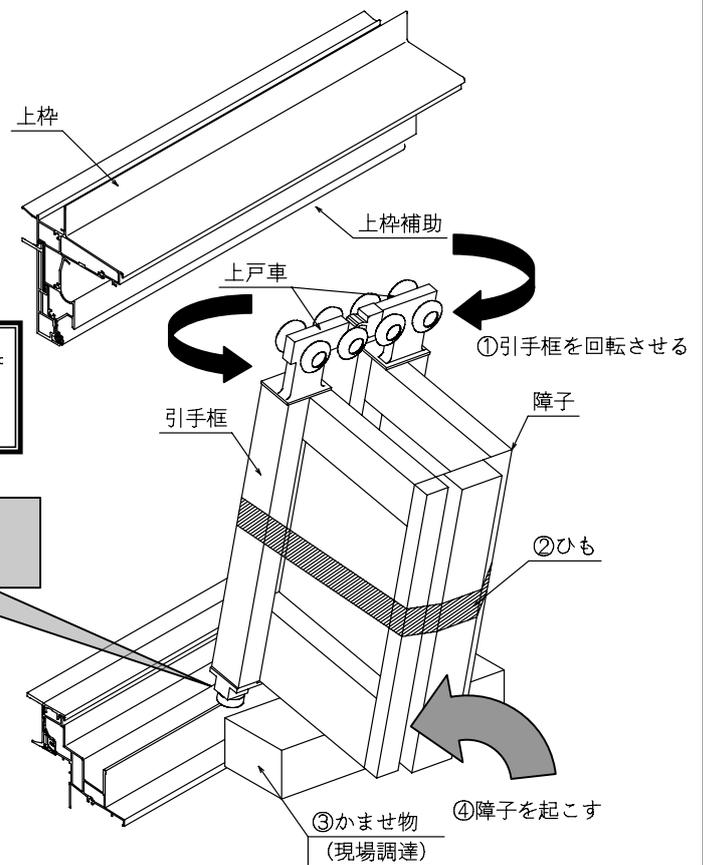
障子は室外側から吊り込みます。

- ① 引手框を横に回転させます。
(上戸車を右図の状態にします)
- ② 障子が開かないように適当なひもで固定します。
- ③ 下戸車や障子の下部が傷つかないように障子の下にかませ物を置いてください。

▲注意 下戸車が傷つくと開閉に支障をきたします。
かませ物は、高さが25mm以上の物を使用してください。

- ④ 障子をおこしてください。

下戸車を直接、床に置かないでください。

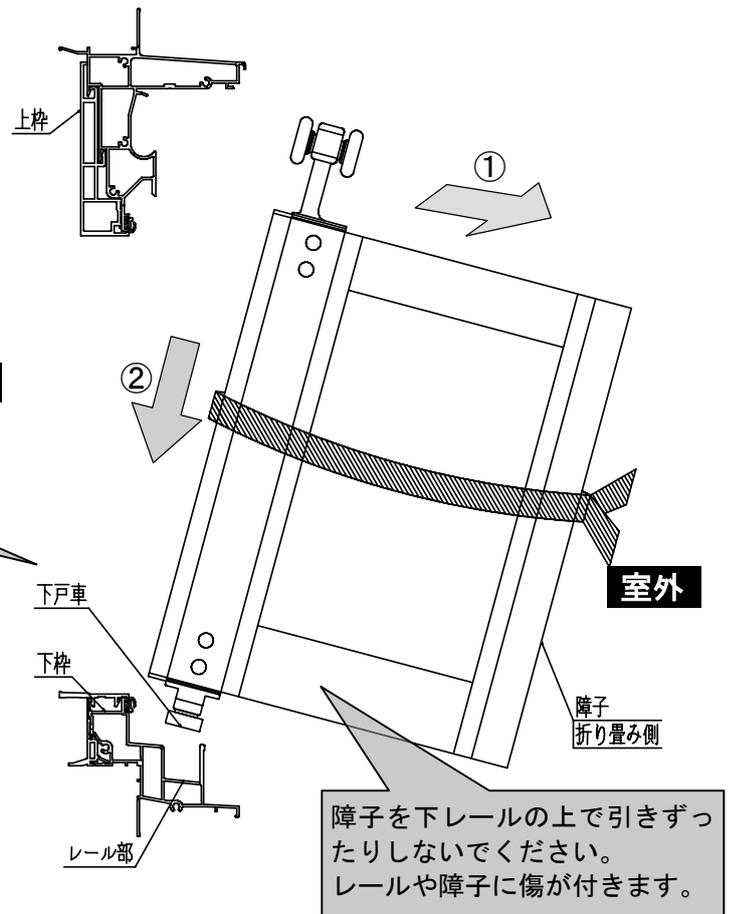


3. 下戸車を下枠のレールに入れる

折り畳み側を室外に向けてください。

- ① 折り畳んだ障子を室外側に傾けてください。
- ② 下戸車やレールが傷つかないように少し持ち上げながら、下戸車を下枠レールに入れます。

吊り込み時に、下戸車が傷つかないように注意してください。

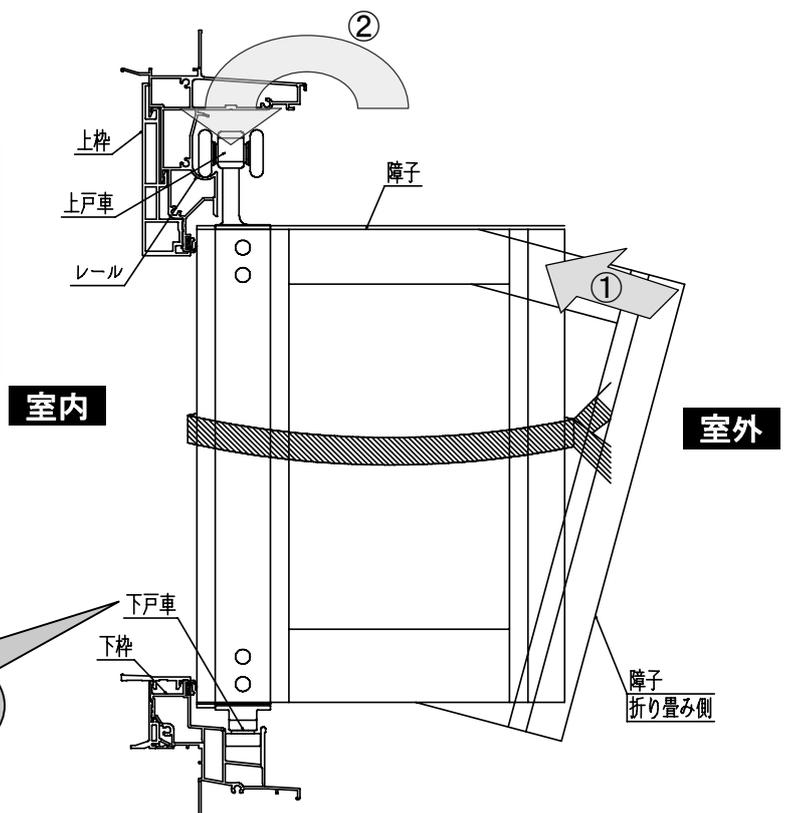


4. 上戸車を上枠のレールに乗せる

- ① 下戸車を下枠にのみ込ませたまま障子をまっすぐに起こします。
- ② 障子を持ち上げ、上戸車を上枠のレールに乗せます。

注意 障子には、右・中間・左勝手があります。ラッチの有無および右・中間・左障子を確認めて吊り込んでください。
※前項「障子の構成」参照

下戸車が下枠にのみ込んでいるか確認してください。



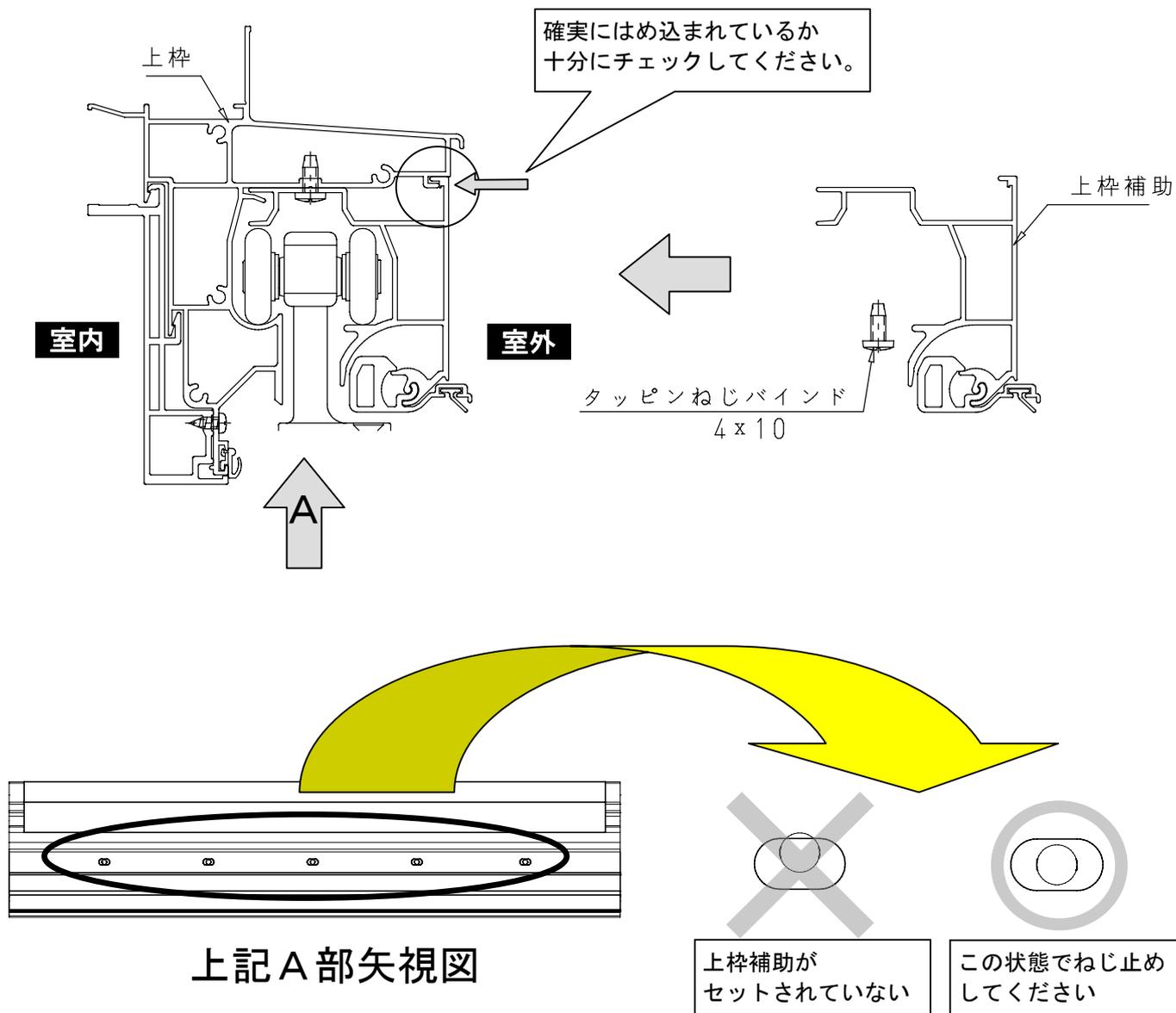
5. 上枠補助を上枠にはめ込む

- ① 上枠へ上枠補助を下図のようにしっかりはめ込んでください。 (P3 “上枠補助の取付けについて” 参照)
- ② 上枠補助 および 上枠には、ねじ止め用穴の複数箇所あいていますので全箇所、ねじ止めしてください。

※ねじ止めするときは、最初に中央部を止め、次に端から順に止めていくと、確実に固定することができます。

▲ 注意

上枠補助が上枠に下図のようにはめ込まれていなかったり、同梱されていた（指定された）ねじ以外を使用した場合、室内への水漏れなどの原因となります。



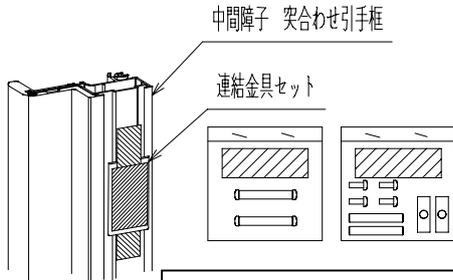
7 障子の連結について

パネル6枚の時は、以下のように連結を行なってください

連結金具セットは、中間障子の引手框にテープ止めされています。

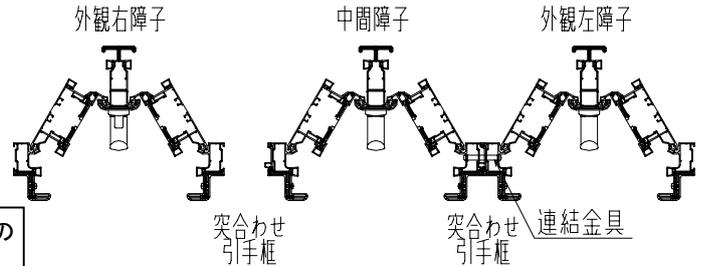
■連結位置

- ・パネルが6枚の時、突合わせ引手框に設けられた貫通穴を利用し、引手框を必ず連結金具で連結してください。



※連結金具セットは上図にある2種類のうちのどちらかが同梱されています。

パネル6枚の時、必ず連結を行なってください。

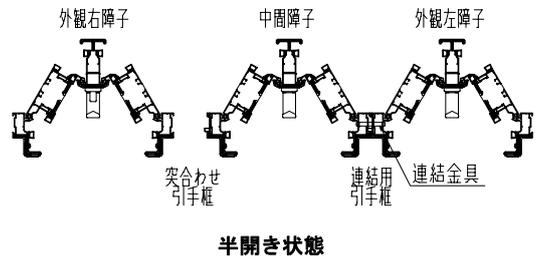


■連結金具

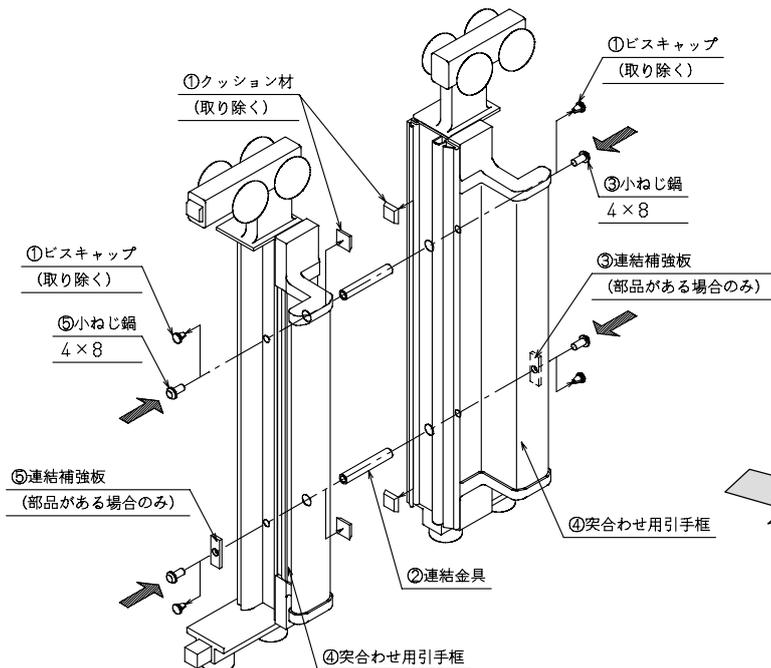
連結は、連結する障子同士を半開き状態にして行ないます

- ① ビスキャップ、クッション材を取り外します。
- ② 連結金具の両端に仮止めしてある小ねじ（4×8）を取り外し、引手框の貫通穴に連結金具を通します。
（防犯仕様のねじは仮止めしてありません。）
- ③ 連結金具の片側をねじ止めします。
（連結補強板が同梱されている場合は、引手框下部のねじと連結金具の間に補強板を挟み、ねじ止めします。）
- ④ 連結する突合わせ引手框を合わせます。
- ⑤ ②と反対側の連結金具をねじ止めします。
（連結補強板が同梱されている場合は、②と同様に補強板を挟み、ねじ止めします。）

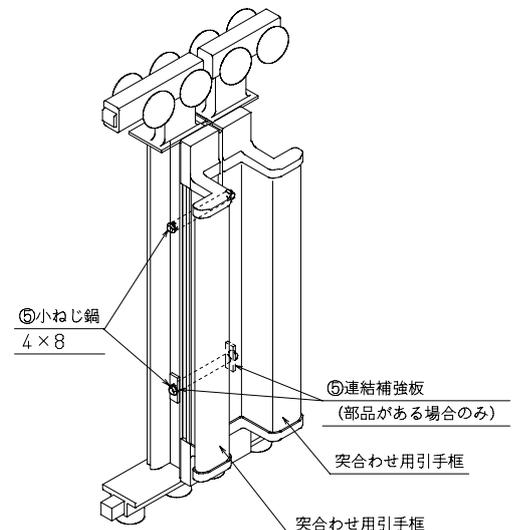
【例】パネル6枚右勝手仕様



半開き状態



★連結した状態です。



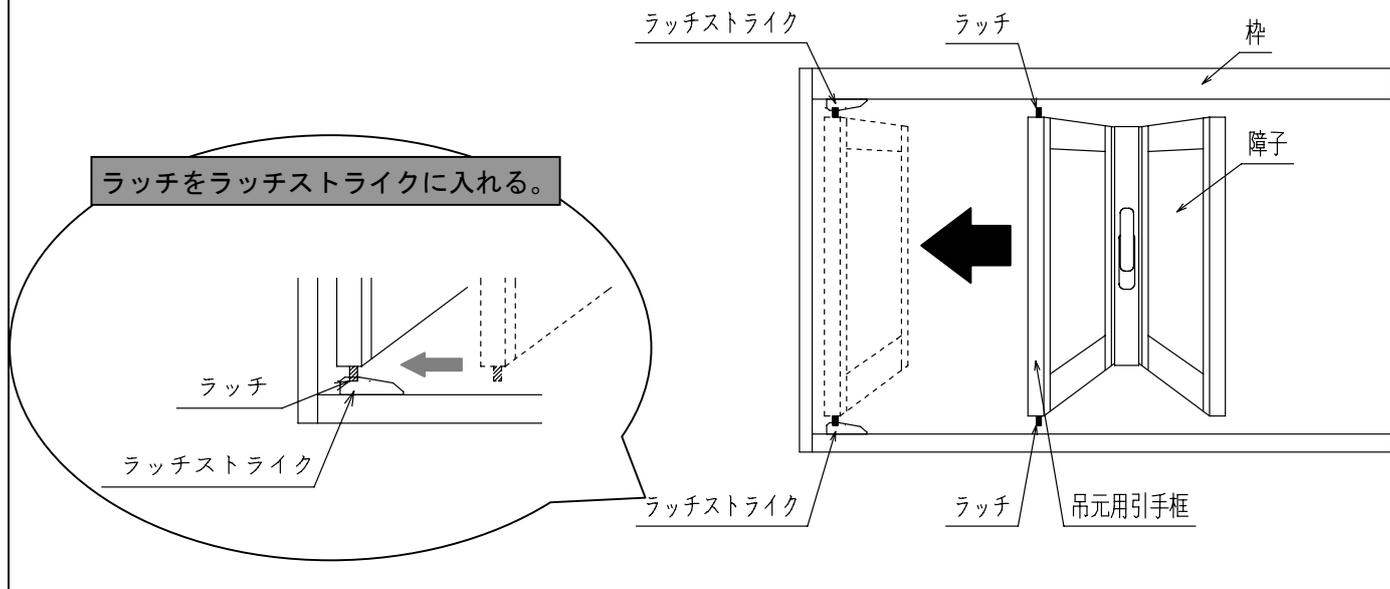
8 ラッチの調整

より快適な開閉のために、必ず下記のことを行なってください。

1. 吊元側の引手框は、常に固定になります。

障子を吊り込んだ後、まずは、吊元用引手框の上・下に取り付けられたラッチを、枠に取り付けられているラッチストライク（ラッチ受け）に入れてください。

ラッチがラッチストライクに入りにくい場合、すべての障子を吊り込み、障子を閉じることで自動的にラッチストライクに入ります。

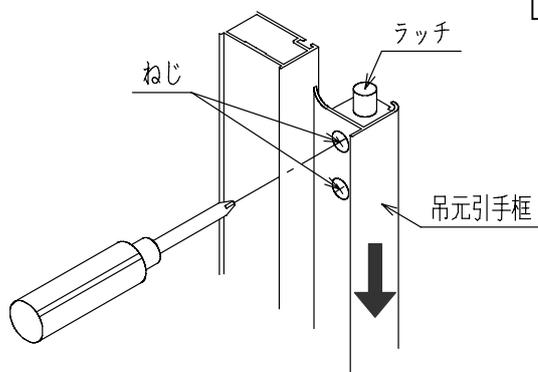


2. ラッチの調整

吊元用引手框をラッチストライクに入れた後、ラッチのかかり具合を確認してください。

かかりの調整は、2本のねじをゆるめることで上下に調整することができます。
調整後は確実にねじを締め付けてください。

- ・工場出荷時、上・下のラッチが一番かかりが深くなる状態で、固定してあります

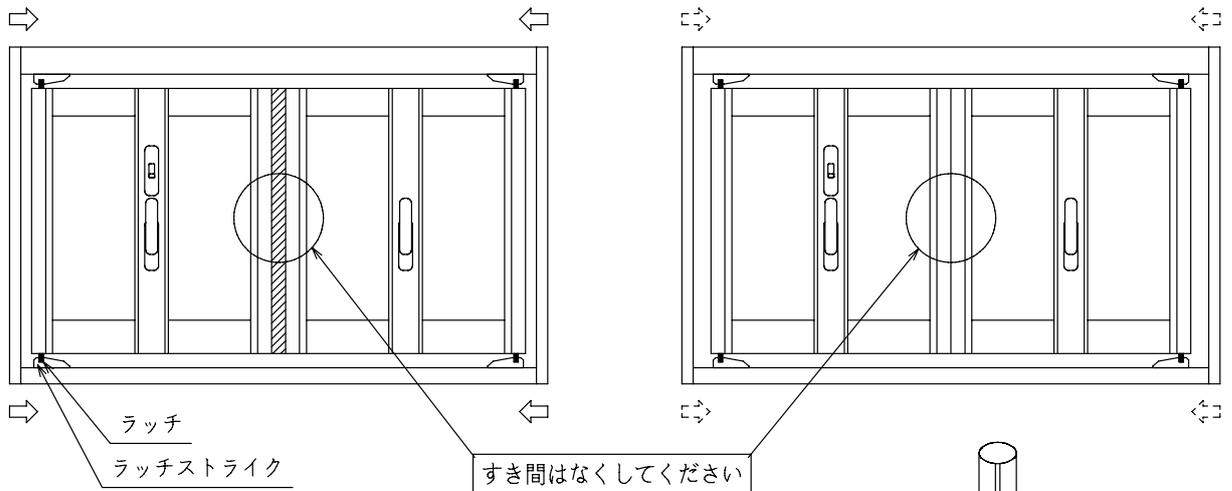


ラッチはかかりが浅くなる方向に調整可能です。

3. 突合わせすき間をなくしてください。

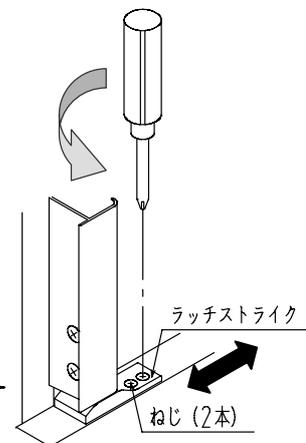
障子を全閉しグレモンハンドルを掛けて、引手框同士の突合わせ部にすき間がないか確認してください。

! すき間は漏水の原因となります。



すき間がある場合、枠の四隅（屋内側）にあるラッチストライクを調整し、すき間をなくしてください。
ラッチストライクを枠中央側に寄せる調整を行うと引手框同士の突合せ部のすき間が解消されます。
ラッチストライク調整後は、ねじを確実に締め付けてください。

ラッチストライクは、2本のねじをゆるめると左右に調整可能です。



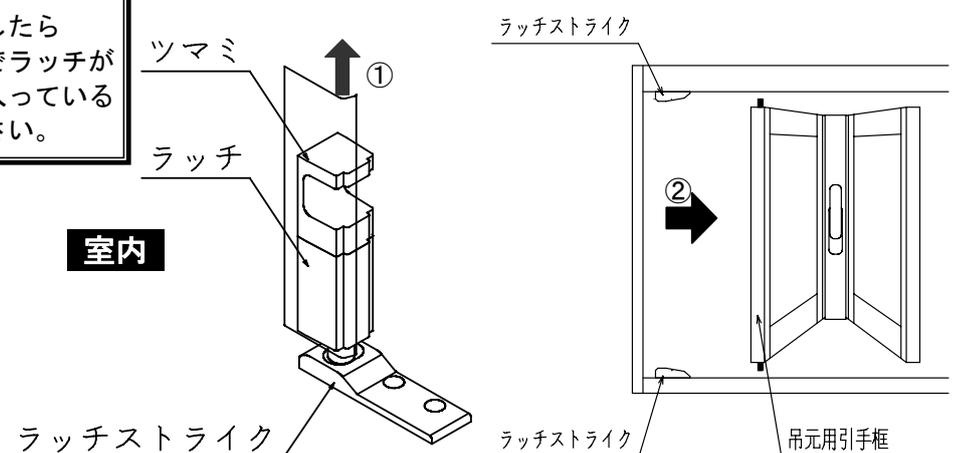
4. ラッチの解除

もしも、障子吊り込み後、突合わせ部にすき間があるなどの支障が生じた場合、吊元用引手框のラッチを解除し、再度確認してください。

ラッチの解除方法

- ① ラッチのツマミ部分をひきます。
- ② ①の状態、吊元用引手框を引く

! 注意 確認などが終わりましたら障子を全閉した状態でラッチがラッチストライクに入っていることを確認してください。

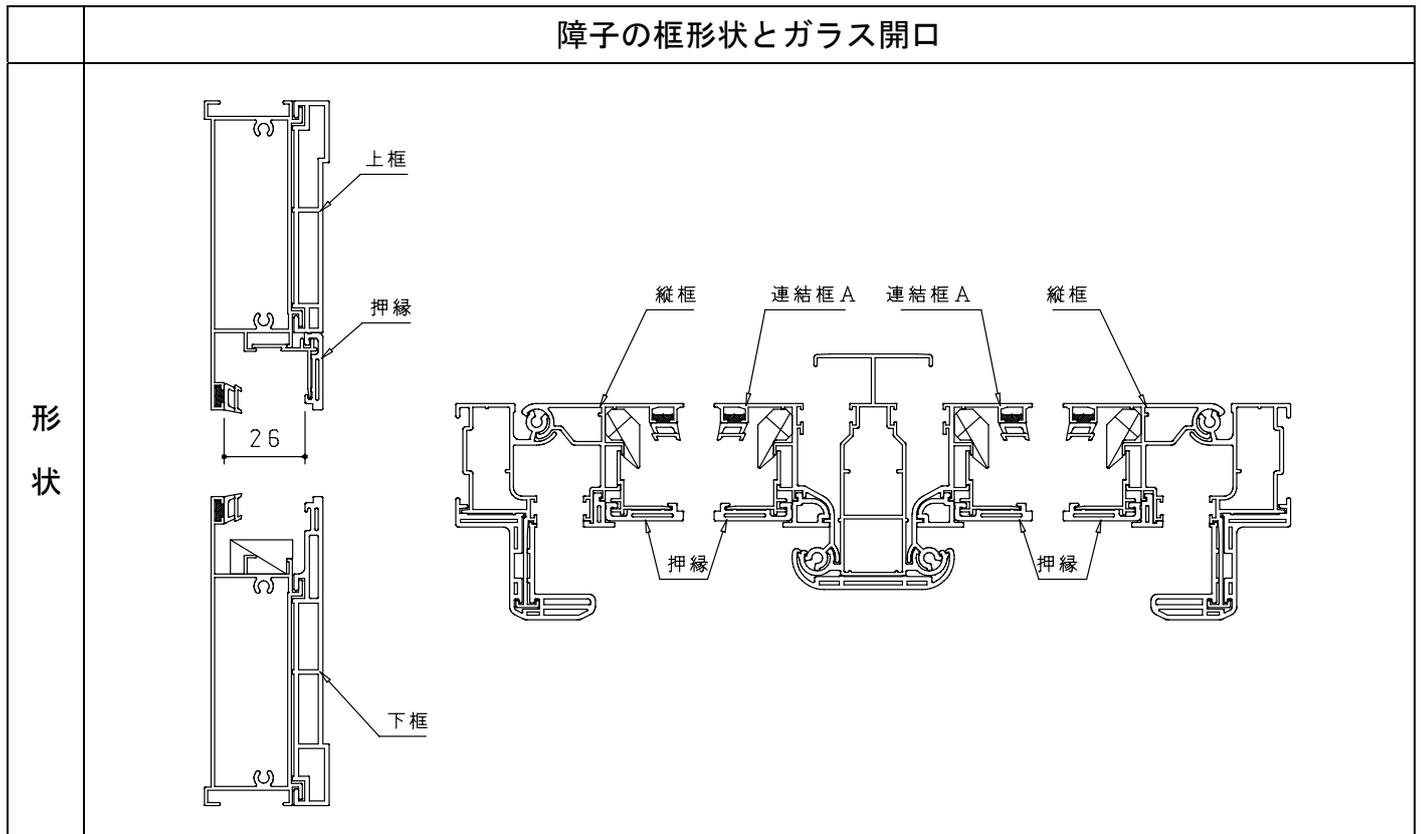


9 ガラスはめ込み前の確認

■ 障子の分類

障子のガラス開口は26mmで、ガラス厚12mm～22mmまで対応可能になっています。

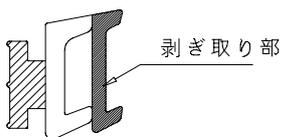
下図・表を参考にしてください。



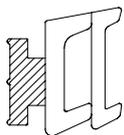
■ ガラスビード一覧

後付け用のガラスビードは、ガラスの厚さに合わせて、別売の後付けビードを別途用意願います。使用ガラス厚に応じたビードの剥ぎ取りの有無は、下表を参照してください。

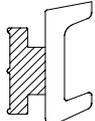
先付けビード形状



先付けビード
12mm～18mmの場合
剥ぎ取りなし



先付けビード
19mm～22mmの場合
剥ぎ取りあり



ガラス厚	12mm	13mm	14mm	15mm	16mm	17mm
品名	GBC1	GBC1	GBC2	GBC3	GBC4	GBC5
先付けビード	○	○	○	○	○	○
姿図						
ガラス厚	18mm	19mm	20mm	21mm	22mm	
品名	GBC6	GBC4	GBC5	GBC6	GBC7	
先付けビード	○	剥ぎ取り	剥ぎ取り	剥ぎ取り	剥ぎ取り	
姿図						

10 ガラスはめ込み

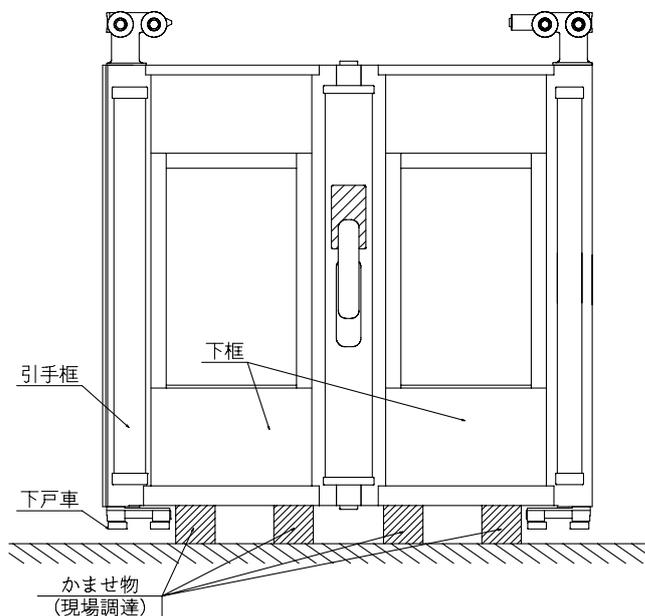
■ 障子を吊り込み前にガラスをはめ込む場合

- ・下戸車（25mm）よりも大きく、4箇所とも同じ高さの※かませ物を用意してください。
- ・※かませ物は、中央付近に2箇所・戸車付近に各1箇所置いてください。

※かませ物は、現場にて調達してください。



注意 かませ物をせずにガラスをはめ込むと、下戸車にキズが付き開閉に支障をきたします。
必ず、下框にかませ物を入れてください。

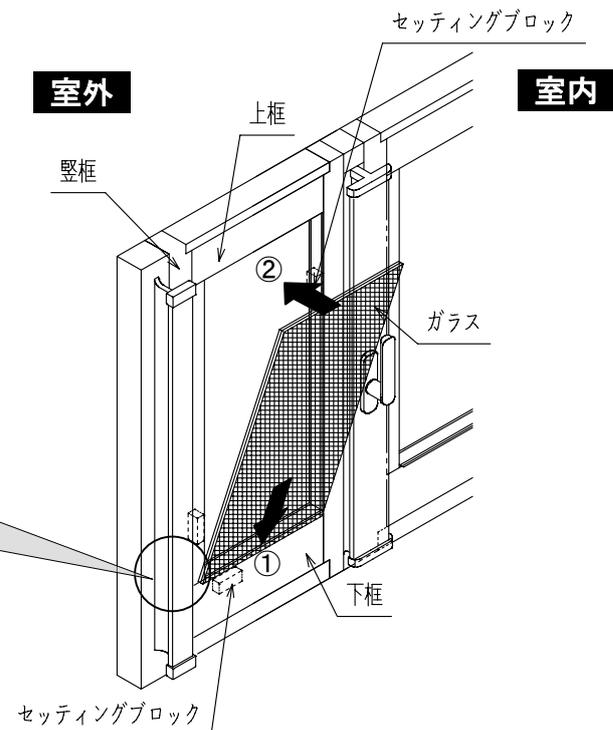


■ ガラスはめ込み

右図を参照にしてガラスをはめ込んでください。

- ① 室内側からガラスを下框セッティングブロックに乗せます。
- ② ①の状態、ガラスを室外側に起こします。

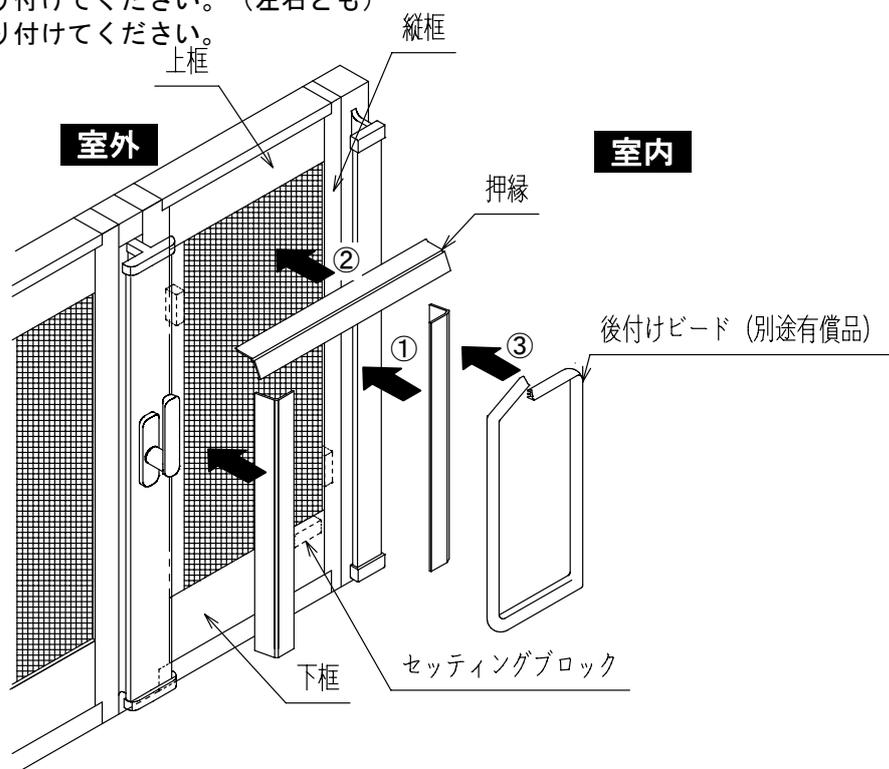
防犯仕様の場合、この位置に面付錠が付いておりますので、ガラスをはめ込む際には、傷つかないように注意して下さい。



■ 押縁・ビードの取り付け

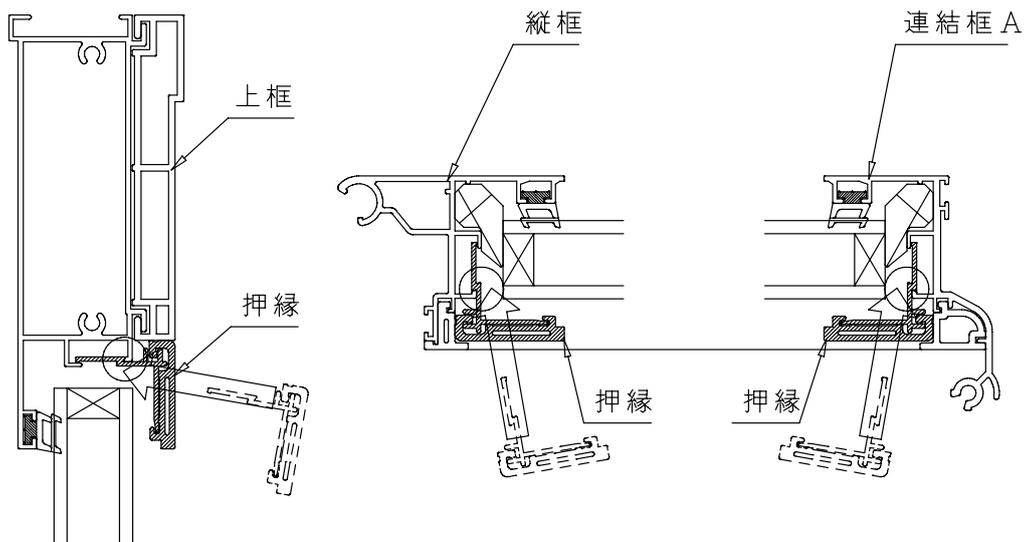
下図を参照して押縁（3方）と後付けビードを取り付けてください。

- ① 押縁を縦框に取り付けてください。（左右とも）
- ② 押縁を上框に取り付けてください。



各部の框に押縁を取り付けた後、押縁が落ちないように仮止めをしてください。

- ③ ガラスビード一覧（P17）を参照して後付けビードを取り付けてください。
押縁は下図のように、斜めに奥まで差込み、回転させて手前に引くと、固定されます（下図○部分）。



アコーディオン網戸の取り付けは、アコーディオン網戸に同梱されている取り付け説明書を参照してください。